

全国学力・学習状況調査をふいかえって

今年度は、全国発表が9月にずれ込むという事態になりました。亀山市でも、先月末に市のホームページに「平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について」という形で、成果と課題についての分析を掲載しております。

その中で市全体として、小学校の国語では、

- ① 文脈に合わせて漢字を正しく読むことが難しい。
- ② 相手の質問の意図を捉えながら聞くことや、的確に整理して相手に質問することに課題がある。
- ③ 条件に沿って、自分の考えを書くことを苦手としている。

また、小学校の算数では、

- ① 小数の性質を正しく理解し、計算することを苦手としている。
 - ② 図形の性質を利用して、作図したり面積を求めたりすることに課題がある。
 - ③ 問題で問われている内容を理解し、理由を言葉や式を用いて記述することが難しい。
- というような課題が見えてきました。

本校では、国語、算数ともにおおむね全国平均の正答率をとることができていましたが、国語では、複数の条件をもとに問題を読み解くことなどに課題が見られることが分かりました。同じように算数でも、問題に対して意味を書いたり図形領域において説明をしたりすることなどに苦手意識があるようです。

これらの課題は6年生の段階だけの問題ではなく、低学年からの積み上げがどの教科においても大切であることは言うまでもありません。例えば、2年生で学習する九九が、その後の算数の学習の基本的な力の一つとなっていくことなどもその一つと言えるでしょう。

そこで、本校でも、読み書き、計算等の基本的な指導の再確認と定着に向けて学習を進めてまいります。すでにお配りしている「家庭学習の手引き」に沿って、家庭での学習時間とともに内容の方もさらに充実したものにしていきたいと思います。また、月曜日の放課後や夏休みなどの長期の休みを利用してのサマースクールなどの充実もその方策の一つと考え、こうした取り組みについてもより効果的な方法を考えてまいります。

さらには、問題文をしっかりと読み込むことのできる読解力を伸ばすためにも、読書活動の推進にも力を入れてまいりたいと思います。

学校図書館の利用をはじめ、市立図書館の活用や家庭での読書など、子どもたちの読書の中を広げる様々な取り組みを考えていきたいと思っています。今後とも家庭学習について子どもたちの様子を見ていただいたり、読書の時間を持っていただいたりしながら、学校・家庭が力を合わせて、子どもたちの学力向上に向けてともに歩んでいけたらと思っています。

子どもたちへの、おうちの方の励ましが一番のご支援と思っていますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

